

令和7年度 事業報告書

学校法人 昭和学院

昭和学院短期大学

昭和学院中学校・高等学校

昭和学院秀英中学校・高等学校

昭和学院小学校

昭和学院幼稚園

令和7年度 学校法人昭和学院 事業報告書

1. 法人の概要

- (1) 建学の精神「明敏謙讓」の精神と伝統を踏まえ、豊かな人間性を育成、特色を生かした全人教育の推進を図り、学院の維持発展を目指しました。
- (2) 学生、生徒、児童、園児および教職員の安全確保に努めました。
- (3) 少子化や環境変化に備え、学生・生徒・児童・園児の確保（収入源の維持）に全力を挙げるとともに、人件費をはじめとする経費の効率化（コスト削減）を進めることで、健全で安定した経営を目指しました。
- (4) 補助金・寄付金を有効活用し、学習環境の整備に努めました。
- (5) 昨今の物価高騰への対応として、教職員に対する「物価調整手当」を月額5,000円から月額10,000円に変更し、賞与にも物価調整手当を加えて支給しました。

2. 事業報告

- (1) 教職員対象のハラスメント研修会を行いました。
- (2) 各学校の主な改修工事

1. GHP(ガスヒートポンプ)エアコン更新工事

【第1期GHP更新工事】

建物	工事期間	室外機台数	金額(税込)
小学校	2025/10~12	18	114,290,000
中高体育館	2025/11~12	6	41,030,000
短大特別館・新館	2025/10~12	5	26,070,000
秀英中高中央棟	2026/02~03	5	49,500,000
伊藤記念ホール	2025/12	4	27,390,000
合計金額			258,280,000

【参考：第2期GHP更新工事】

建物	工事期間	室外機台数	金額(税込)
幼稚園	2026/04~05	3	21,560,000
中校舎棟	2026/04~10	35	280,280,000
合計金額			301,840,000

2. 中央監視システムの不具合に伴う更新工事について

監視箇所	伊藤記念ホール 中高校舎棟・体育館 短大
改修金額	51,700,000円(税込)

【幼稚園：補助金利用】

3. 未収園児の環境づくり

- ・園児改善のための ICT 化支援 1,177,220 円
(補助金交付額 550,000 円)
- ・緊急環境整備事業(遊具環境) 856,000 円
(補助金交付額 184,000 円)

施設整備事業

- ・ウッドデッキの一部床の張替 3,960,000 円
(補助金交付額 1,440,000 円)
- ・災害対策(保存水など) 58,025 円
(補助金交付額 57,000 円)

合計金額 6,051,245 円
(補助金交付額 2,231,000 円)

次年度計画工事(予定)

- ・監視カメラの設置
- ・電子黒板の設置
- ・自然換気システムの修理 など

【小学校：補助金利用】

4. 不審者・防犯対策

- ・普通教室すべてに防犯カメラの設置 6,140,000 円
(補助金交付額 3,070,000 円)

【秀英中高】

5. 生徒の環境づくり

- ・渡り廊下更新工事 19,800,000 円
 - ・第1・2 体育館トイレ排水管破損に伴う緊急工事 30,239,000 円
 - ・LL 教室改修工事 12,100,000 円
 - ・中学棟西側トイレ更新工事 28,050,000 円
 - ・校内 LAN 整備 15,840,000 円
 - ・中学棟・高校棟階段・廊下塗装工事 25,575,000 円
- 合計金額 131,604,000 円

3. 令和8年度 学校法人昭和学院の活動方針

1. 財政

堅実な経営基盤を維持・向上させるために必要な財務戦略を立案・実行します。「経営・財政の安定なくして、教育研究の充実・発展なし」を基本理念として、中期事業計画の実現を財政的に担保すると共に、部門独立採算を厳格化し、安定的財産基盤を確立します。

- (1) 入学定員の確保を前提とした学校(部門)別独立採算を厳格化し、法人全体として堅固な財政基盤を保持します。 学校(部門)ごとに単年度収支を均衡させ、将来計画を実現するための資金を確保します。

- (2) 補助金、寄付金等外部資金の有効利用に努めます。
- (3) 目的を明確にした戦略的広報活動を強化します。(入学定員の確保と寄付金の募集に繋がります)。
- (4) 支出の中で多くを占める人件費を適正値にコントロールする(学校ごとに生徒数に見合った教員数とし実行していく)ことが本法人の課題であり、学校(部門)別の人件費比率を50%未満に改善することが目標です。教育の質を確保しながらの取り組みのため、段階的に改善させることとし、令和11年度には50%未満と定めます。
 人件費比率 人件費÷経常収入(概ね50%台)
 人件費依存率 人件費÷学生生徒等納付金(100%以下)
- (5) 支出に対する費用対効果の検証、三社見積もりの徹底、値引き交渉の実施、業務委託費等の支出の見直しを行います。
- (6) 寄付金の募集を行い、学校(部門)別に定めた目的のために利用します。
- (7) 目標未達成学校(部門)については、見直しによる自助努力と法人による必要な支援措置を講じます。

2. 人事

学院の発展や中期計画達成のため、教職員がやりがいを持ちながら、能力を生かし活躍できる人事政策を推進します。

- (1) 学校(部門)ごとに財政収支が均衡することを前提に適正な(授業時間数に見合った)人員を配置します。
- (2) 永続的発展のため、有能な人材を適切な年代構成に配慮し、採用・育成するシステムを構築します。
- (3) 教員研修を充実させ、授業力アップに努めます。
- (4) 勤務時間に関する意識改革と時間外勤務の抑制に努めます。

3. 施設設備

教育研究の維持向上と学生・生徒・児童・園児の安全を確保するため、計画的に施設整備を図ります。

- (1) 学校法人の施設に要する経費は、人件費と並び膨大なものとなるため、計画的に整備、保守、修繕を行うものとします。
- (2) 施設計画については、学校(部門)別に計画している事業を法人で調整し、各年度の予算編成の中で実施する事業を決定するものとします。
- (3) 実施予定の事業は、優先順位を決め、学校(部門)共同で実施することとし、最大の効果と効率化・スケールメリットを図る事で、支出に関するコストダウンを行います。
- (4) 基本金組入れ額を確保し、幕張キャンパスおよび短期大学の改築・大規模改修に備えます。

4. ガバナンスの強化

本学院の教育目標および研究目的は多岐にわたっており、それぞれに異なるステークホルダーが存在することを踏まえた上で、法人運営・教育研究活動の充実・高度化と透明性を確保します。

- (1) 自己点検や改善・改革に関わる情報および保有する教育・研究をはじめとする各種情報を刊行物やホームページ等を通じて積極的に公開することにより、学院内外の関係者および社会に対する説明責任を果たします。
- (2) すべての教育・研究活動、業務に関し、法令・寄附行為・学則ならびに諸規定を順守するよう学院全体で取り組みます。

5. 学校校舎等のさらなる有効活用

学校校舎等を更に有効活用し、教育活動の充実強化、学校の認知度の向上、入試広報活動の推進等に役立てます。

令和7年度昭和学院短期大学事業報告

1. 学校の概要

(1) 設置する学校と開校年月日・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等
昭和学院短期大学	平成12年4月	ヘルスケア栄養学科
	平成22年4月	人間生活学科こども発達専攻
	令和6年4月	人間生活学科キャリア創造専攻

(2) 学校・学部・学科等の学生数の状況

① 入学定員、収容定員、現員数 等

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数
昭和学院短期大学	人間生活学科	90	180	148
	ヘルスケア栄養学科	80	160	90

(3) 教職員の概要

① 本務兼務別員数 等

区分		昭和学院短期大学	平均年齢
教員	本務	25	48.4
	兼務	35	51.9
職員	本務	5	43.0
	兼務	1	38.0

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

少子高齢化、高度情報化、グローバル化が進展する現代において、地域社会から強く求められている保育、栄養、ビジネスの各分野において、真に地域に貢献できるスペシャリストの育成を目的とし、明敏謙譲の建学の精神の下、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーに基づいた事業活動を展開した。また、アセスメントポリシーに則り、PDCAサイクルに基づく継続的な改善活動を実施した。

SDGsの達成に向けた教育・研究の推進に努めるとともに、市川市との包括連携協定や大学コンソーシアム市川との連携により、地域課題の解決に向けた取り組みも行った。

令和7年度においては、昭和学院6か年計画に基づき、Society 5.0に対応した質の高い教育の提供、学生ひとり一人に応じたきめ細かな指導、資格取得や就職活動を支援するキャリア教育、ならびに定員確保を目指した学生募集活動および地域連携活動を主軸として事業を展開した。

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

①令和8年度入試改革

特になし。

②学生募集状況

令和5年度入学生までは定員が確保されていたが、令和6年度と令和7年度は人間生活学科こども発達専攻とヘルスケア栄養学科で定員割れとなった。収支のバランスから安易に募集定員を下げることはできない。こども発達専攻ではオープンキャンパスの工夫と離職者等再就職訓練コースの委託事業で社会人の確保に努めた結果、令和7年度は60名の定員には至らなかったものの、復学者1名を加えて1年生は54名となった。

ヘルスケア栄養学科では令和7年度も深刻な定員割れとなったため、食品イノベーションコースと健康サポートコースを新設し、新たな入学志願者を確保する計画を実行中である。令和8年度入試に向けたオープンキャンパスの参加高校生数は増えているが、志願者に結びつかなかった。

キャリア創造専攻は定員が30名と少ないため、40名定員を目指している。ビジネス領域の充実を図って志願者増につなげる方向で計画進行中である。

③資格の取得

キャリア創造専攻ではブライダル関連の資格を筆頭に、フードコーディネーター、医療事務、調剤薬局、中学校教諭、TOEIC500点以上等の取得など成果があった。また、新たに日商簿記3級取得者が加わった。

こども発達専攻では保育資格取得者100%、幼稚園教諭資格取得者95.5%と極めて高かった。また、公務員保育士の合格率も75%と高率を維持した。この他に認定絵本士、おもちゃインストラクター、認定ダンス指導員の資格を取得した。

ヘルスケア栄養学科では49名の卒業生のうち、栄養士資格取得者は42名(取得率85.7%)と極めて高い。また、栄養教諭、フードコーディネーター、アスリートフードマイスター、健康管理士一般指導員(うち、上位資格である文部科学省後援・健康管理能力検定1級の同時合格者含む)の資格を取得した。

④就職状況

就職状況は極めて良好であったが、ヘルスケア栄養学科の学生1名が、卒業が確定した3月から就職活動を始め、3月中に内定には至らなかった。そのため9年連続100%にはならなかった。

学科	専攻	卒業者	就職希望者	就職者	進学者	その他	就職率	進学率	内定率
人間生活	キャリア創造	32	31	31	0	1	96.9	0.0	100.0
	こども発達	22	22	22	0	0	100.0	0.0	100.0
ヘルスケア栄養		49	46	45	1	2	91.8	2.0	97.8
計		103	99	98	1	3	95.1	1.0	99.0

⑤企業連携

企業と連携して社会に直結した実践的な教育を推し進めた。キャリア創造専攻はANA、国分、ZOZO、こども発達専攻はソニー、ヘルスケア栄養学科はマルエツ等と連携した。

⑥地域貢献

市川市との連携でいちかわ市民アカデミー講座、子育て支援センターの運営、大学コンソーシアム市川との連携で公開講座、市川シビックロータリークラブとの共催で市川市小学生・中学生朝食選手権、青年商工会議所プロジェクト協力等の事業を行った。

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿差額
千葉県市川市東菅野 2-17-1	校地	11,633 m ²	2,364,938 千円	0 千円
	校舎	7,915 m ²	2,344,999 千円 ※全体の合計	1,711,560 千円 ※全体の合計
	体育館	704 m ²		
	図書館	705 m ²		
	栄養科学研究所	117 m ²		
	学生棟	132 m ²		

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

なし

(4) その他

① 当該年度の重要な契約

なし

② 係争事件の有無とその経過

なし

③ 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

なし

④ 対処すべき課題 等

18歳人口が減少する中で、定員確保に向けた募集活動として以下の点を実施する。

- ・ SNS 等を活用する。
- ・ 短期大学の認知度を上げるために情報発信を積極的に行う。
- ・ 高大連携を推し進める。
- ・ 社会人を積極的に受け入れる。
- ・ 多様な学生を受け入れる。

昭和学院中学校・高等学校

1. 学校の概要

(1) 昭和学院中学校・高等学校 全日制（普通科）

(2) 生徒数の状況（令和7年5月）

	学年	収容定員(人)	現員数(人)	クラス数	コース
昭和学院 中学校	1年	180	205	6	IA,SA,AA,GA
	2年	144	149	5	IA,SA,AA,GA
	3年	144	148	6	TA, IA,SA,AA,GA
昭和学院 高等学校	1年	320	369	11	TA, IA,SA,AA,GA
	2年	320	289	10	TA, IA,SA,AA,GA
	3年	320	484	15	TA, IA,SA,AA,GA
	計	1428	1644	53	

※ 昭和学院中学校1年 205名（募集180名+25名）

昭和学院高等学校1年 369名（募集320名+49名）

(3) 教職員の概要（平均年齢44.9歳）

（単位：人）

教科	常勤（本務）	非常勤（兼務）	合計
国語	18	7	25
社会	17	3	20
数学	15	5	20
理科	15	2	17
英語	26	10	36
保健体育	13	4	17
技術家庭	6	0	6
情報	2	0	2
音楽	2	1	3
美術	1	2	3
教育相談	0	1	1
養護	2	1	3
図書	1	2	3
事務	3	2	5
計	121	40	161

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

【学習】

- TA、AA、IA、GA、SA の5コース制を活かし、個性豊かな生徒の育成を図り、進学実績の向上を目指す
- 学力推移分析会（中学）・模試分析検討会・ケース会議（高校）等の精度向上
- 授業力向上を目指した各種研究会・研修会の企画と実践
- 自学自習体制の確立
 - ・各コースでの生徒相互の「学びあい」「教えあい」による切磋琢磨の実践
 - ・自習室での自学自習の習慣化とチューターによる特別講座への参加を促す
- 探究学習の充実
 - ・答えのない問いに取り組む活動に協働して取り組み、多様な探究活動につなげる
 - ・修学旅行を探究学習と関連付けて、生徒主体で企画立案する
 - ・集大成の「探究フェスティバル」で、探究してきた成果を披露する
 - ・様々な分野の有識者や専門家などから話を聞き、自己の世界を広げることを目的に「S Gアカデミー」を開催

【部活動】

- 運動部、文化部ともに部活動のさらなる活性化

【生徒募集】

- 資質・能力の高い生徒の獲得
 - ・広報部による戦略的募集活動を実践
 - ・中高ともに、本校の特色ある入学試験で、豊かな個性・感性、優れた能力・適性を持つ生徒を定員以上に獲得
 - ・中学校の学則定員を210名に増やした（これまで144名）が、令和7年度入試に引き続き令和8年度入試でも収容定員を180人として募集。
 - ・中高6年間の一貫教育のより一層の充実

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

【本校が目指す学校像】事業の目的①

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">① 将来、国際的視野を持ち、様々な分野でリーダーとして活躍するために必要な深い教養を身に付けさせるとともに、建学の精神「明敏謙讓」の態度を育成する学校② 中高一貫教育校として、教育活動の一層の改善充実を図るため、本校の教育課題を明確にして教職員の共通理解を図り、改善のための具体的方策を積極的に実践していく学校③ 高いレベルの文武両道を目指す進学校として、生徒・保護者・国民の期待に応える魅力ある教育活動を実践するとともに、中学から高校への円滑な接続を図り、計画的・組織的・継続的な学習指導・進路指導を行い、生徒の進路希望実現を支援する学校 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【育成したい生徒像】事業の目的②

- ① 最後まであきらめず自ら考え、自ら学び、自ら行動できる生徒
- ② 高い志を持ち、学習やスポーツ、文化活動に励む「文武両道」を目指す生徒
- ③ 自らを律することができ、人を思いやることのできる人間性豊かな生徒

【令和7年度の主な事業の進捗状況】

●授業改善公開授業（全教員参加の授業研究）1学期と2学期に実施

●英語スピーチコンテスト

令和7年度市川市中学校英語発表会

- ・中学校1年生暗唱の部 優勝
- ・中学校2年生暗唱の部 優勝
- ・中学校3年生暗唱の部 優勝
- ・中学校3年生スピーチの部 優勝

第48回市川市高等学校英語スピーチコンテスト

- ・高校1年生の部 優勝
- ・高校2年生の部 優勝
- ・高校3年生の部 優勝

第76回千葉県高等学校英語スピーチコンテスト

- ・高校1年生 リーディング部門 第6位
- ・高校3年生 レシテーション部門 優勝

●進学実績の向上（後掲資料参照）

- ・国公立大 26名（既卒生4名）合格（昨年14名）
- ・早慶上理ICU 45名（既卒生15名）合格（昨年24名）
- ・GMARCH 107名（既卒生21名）合格（昨年55名）他

●海外大学合格 27名（後掲参考資料②参照）

※令和8年度 台湾国立雲林科技大学との高大接続提携済

（TSMC 主導の日本国内での半導体人材育成を目的とした「日本人学生向け特別プロジェクト」…4年間学費免除、4年間生活費約230万円支給、語学学習費支給、本校より3名の指定枠）

●SGアカデミー

- ・井出留美氏（株式会社 office 3.11 代表取締役）

テーマ「SDGs と食品ロス削減」「賞味期限のウソ 食品ロスはなぜ生まれるのか」

●探究学習と関連付けた修学旅行

TA コース、AA コース、GA コース…沖縄での探究学習

SA コース…種子島、屋久島での探究学習

IA コース…ボストンでの語学研修

- 「Google for Education 活用促進セミナー2025」での発表
 渋谷 Google office にて昭和学院における生成 AI (Gemini) の活用実践発表
 テーマ 「ICT 活用 15 年の実践知が拓く、AI との新たな協働」
- 「未来探究祭 Final STAGE」(一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構主催)
 全国の高校生 281 チームから選ばれた上位 11 チームが Final (東京大学で開催) に進み、
 本校 TA コース (1 年 A 組) の 1 チームが金賞、もう 1 チームが JTB ツーリズムビジネス
 カレッジ賞を受賞
- 運動部・文化部の関東大会、全国大会での活躍 (後掲参考資料①参照)
 - ・インターハイ…女子ハンドボール部優勝 (2 連覇)、新体操部優勝
 - ・国民スポーツ大会…女子ハンドボール部千葉県代表単独チームで優勝、新体操部優勝
 - ・全国高等学校選抜大会…女子ハンドボール部優勝
 - ・第 31 回東関東吹奏楽コンクール 銀賞
 - ・第 27 回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 実行委員長賞
- 令和 8 年度入試
 - ・昭和学院中学校 (募集定員 180 名) …のべ 1658 名受験 ⇒ 186 名入学
 - ・昭和学院高等学校 (募集定員 320 名) …956 名受験 ⇒ 406 名入学

※参考資料「AERA Kids Plus 2026 年 4 月 10 日」より

千葉でも中堅校が人気。難化している学校は敬遠されがちに

千葉も、最難関の渋谷教育学園幕張 (千葉市) が 2469 人から 2489 人と少し増えたもの
 の、中堅校の健闘が目立った。昭和学院 (千葉縣市川市) は 1377 人から 1658 人、八千代
 松陰 (千葉県八千代市) は 751 人から 915 人と健闘した。サピックス教育事業本部本部長
 の広野雅明さんはこう話す。

「昭和学院はインターナショナルアカデミー、アドバンストアカデミー、サイエンスアカデ
 ミーなど五つのコース制を敷いており、基本的に生徒の希望に応じて選ぶことができます。
 最近では成績の上下で切るようなコース制よりも、生徒の進路に合わせて横に並列するよう
 なコース制のほうが、保護者のニーズが高い印象です」

(後略)

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿差額	摘要
千葉県市川市	校地・校舎	校地 51,118 m ² 建物 33,000 m ²			中学校・高等学校の学校用地として利用
	寮	土地 761.00 m ² 建物 732.79 m ²	-	-	部活動用女子寮として利用

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況 なし

③ その他 プラネタリウム設備入れ替え

(4) その他

① 当該年度の重要な契約 なし

② 係争事件の有無とその経過 なし

③ 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実 なし

④ 対処すべき課題 等

- ・ 6年間の中高一貫教育を行う学校へとステップアップするため令和6年度に中学校の学則定員を144名から210名へと増やした。令和7年度入試（令和6年度実施）は移行期初年度として募集定員を180名として実施した。令和8年度入試（令和7年度実施）でも同様に募集定員を180名として実施した。この移行期間は3年間を予定しており、令和10年度入試（令和9年度実施）より募集定員を学則定員の210名とする。

一方、高校では令和10年度入試（令和9年度実施）から昭和学院中学校からの内部進学の新入生が増えるため、外部からの募集人数が減ることになる。そのため、現在の高校入試で募集しているA推薦（単願）とB推薦（併願）の受験制度を見直すことになる。

- ・ 学習指導要領の改訂に伴い、大学入試も総合型選抜をはじめ、その方法に変化が見られるようになってきた。時代の流れに応じて、本校でのコース制による教育課程の内容や授業方法等についても見直していく。
- ・ 特に、TAコース、AAコースでは、進学実績を安定的に向上させられるような教育課程やシラバスの改善について検討する。
- ・ 本校のコース毎の教育課程の特徴として、SAコースでの科学的な研究と、GAコースでの探究学習をより一層充実させていく。
- ・ 教師の働き方改革が叫ばれる今、本校でも校務分掌の見直し及び再編をすることで業務の精選を図り、「働き方改革」を構造的に実現していく。

参考資料④【部活動の活躍】

運動部

《中学校》

【都道府県対抗全国中学生ソフトテニス大会】 第2位

【関東中学校体育大会】

- ・水泳 男子総合優勝 男子メドレーリレー優勝
- ・体操競技 女子団体 出場 男子個人 出場
- ・新体操 団体 出場
- ・空手道 女子個人形 出場
- ・ソフトテニス 女子団体 出場 女子個人 出場 男子個人 出場
- ・女子バスケットボール 出場
- ・女子バドミントン 団体・個人 出場

【全国中学校体育大会】

- ・新体操 第5位
- ・女子ソフトテニス個人 ベスト16
- ・水泳 400mメドレーリレー・400mフリーリレー予選惜敗
- ・女子バドミントン団体 初戦惜敗

《高等学校》

【令和7年度関東高校大会】

- ・女子バスケットボール（千葉県大会 優勝） 優勝
- ・新体操（千葉県大会 優勝） [団体] 第4位 [個人総合] 第7位 第8位
- ・女子ハンドボール（千葉県大会 優勝） 準決勝惜敗
- ・男子ハンドボール 2回戦惜敗
- ・女子バドミントン 2回戦惜敗
- ・男子バドミントン 初戦惜敗
- ・女子ソフトテニス [団体] 初戦惜敗 [個人] ベスト16
- ・男子ソフトテニス [個人] 初戦惜敗
- ・自転車競技 [個人] 第9位

【全国高等学校選抜大会】

- ・新体操 全国優勝
- ・女子ハンドボール 初戦惜敗
- ・自転車競技 トラック競技：ケイリン 初戦惜敗

【全国高等学校総合体育大会 [インターハイ]】

- ・女子ハンドボール 全国優勝 [インターハイ二連覇]
- ・新体操 全国優勝

- ・女子ソフトテニス [個人] 4回戦惜敗
- ・自転車競技 [個人]準決勝惜敗
- ・水泳 男子400mメドレーリレー 第3位 女子400mメドレーリレー 第5位
男子200m個人メドレー 第4位 女子100mバタフライ 第8位
男子100m背泳ぎ 第8位
- 【新体操世界選手権団体総合】団体金メダル（フェアリージャパンの一員として出場）
- 【国民スポーツ大会】
- ・新体操 少年女子総合 千葉（昭和学院単独チーム）優勝
☆令和7年三冠達成【全国選抜優勝・インターハイ優勝・国スポ優勝】
- ・水泳（競泳）
 - [個人] 男子400m個人メドレー 第5位 男子100m自由形 第7位
男子200m個人メドレー 第8位
 - [リレー] 男子A メドレーリレー 第6位 女子A メドレーリレー 第5位
女子A フリーリレー 第8位 男子B メドレーリレー 第6位
男子B フリーリレー 第6位
- ・女子ハンドボール優勝（昭和学院単独チーム）
- ・女子バスケットボール（千葉県チーム）第3位
- ・女子ソフトテニス（千葉県チーム）初戦惜敗
- 【ウインターカップ2025】
- ・女子バスケットボール 2回戦惜敗

文化部

《中学校》

- ・ダンス部 ミスダンスドリルチームインターナショナル in USA 2025 第3位
ダンス選手権全国大会出場

《高等学校》

- ・バトン部 全日本バトントワーリング選手権大会スリーバトン9位・トゥーバトン22位
- ・吹奏楽部 第31回東関東吹奏楽コンクール 銀賞
第27回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 実行委員長賞

その他

《高等学校》

- 【世界アームレスリング選手権】
- ・男子ジュニア60kg級ライトハンド第3位
- 【全国高等学校アームレスリング選手権】
- ・ライトハンド 準優勝 ・レフトハンド 第3位

参考資料②【令和7年度大学合格状況】

令和7年度 合格状況

2026年4月1日現在

☆ 四年制大学 延合格者数 993名(含80名) ※ ()内は過年度卒業生の延べ人数

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
<国公立大>							
成城大		成城大	4	漂太平洋大	2	東京工科大	6
武蔵大	14(4)	武蔵大	14(4)	京都外国語大	1	東京工芸大	7
獨協大	19(1)	獨協大	19(1)	近畿大	1	東京国際大	4
日本女子大	3	日本女子大	3	コー・イノベーション大	1	東京情報大	7
日本赤十字看護大	1	日本赤十字看護大	1	国際医療福祉大	8	東京女子体育大	5
東京農業大	8	東京農業大	8	国際武道大	2	東京聖栄大	1
東邦大	22(1)	東邦大	22(1)	産業能率大	7	東京未来大	2
北里大	3	北里大	3	秀明大	2	東都大	2
順天堂大	11	順天堂大	11	淑徳大	7	東洋学園大	2
芝浦工業大	10(1)	芝浦工業大	10(1)	城西大	3	常盤大	1
東京電機大	9	東京電機大	9	城西国際大	6	二松学舎大	6
皇巣科大	1	皇巣科大	1	湘南工科大	1	日本医科大	1
日本大	56(3)	日本大	56(3)	尚美学園大	1	日本ウェルネススポーツ大	1
東洋大	48(3)	東洋大	48(3)	昭和医科大	2	日本栄養大	2
駒澤大	22(1)	駒澤大	22(1)	杉野服飾大	1	日本経済大	1
専修大	21(1)	専修大	21(1)	聖徳大	6	日本工業大	5
大東文化大	3	大東文化大	3	聖路加国際大	2	日本獣医生命科学大	3
東海大	5	東海大	5	洗足学園音楽大	5	日本女子体育大	5
亜細亜大	10	亜細亜大	10	山台大	1	日本体育大	2
帝京大	13	帝京大	13	創価大	1	日本福祉大	1
国士館大	34	国士館大	34	茨城大	1	白鷲大	1
工学院大	4(2)	工学院大	4(2)	大正大	14	文化学園大	2
東京都市大	8	東京都市大	8	高千穂大	1	文京学院大	4
武蔵野大	30(4)	武蔵野大	30(4)	拓殖大	5	別府大	1
神田外語大	12	神田外語大	12	五川大	3	武蔵野美術大	1
文教大	11	文教大	11	千葉経済大	1	明海大	8
横浜薬科大	1	横浜薬科大	1	千葉工業大	77(17)	明星大	10
大妻女子大	12	大妻女子大	12	千葉商科大	8	目白大	2
共立女子大	6	共立女子大	6	中央学院大	2	ヤマザキ動物看護大	2
実践女子大	1	実践女子大	1	中京大	1	山梨学院大	3
昭和女子大	7	昭和女子大	7	帝京科学大	11	酪農学園大	2
聖心女子大	1	聖心女子大	1	帝京平成大	18	立正大	11
植草学園大	1	植草学園大	1	桐蔭横浜大	1	流通経済大	4
江戸川大	1	江戸川大	1	東京有明医療大	4	麗澤大	30
桜美林大	11	桜美林大	11	東京医科大	1	和光大	1
開智国際大	2	開智国際大	2	東京医療保健大	14	和洋女子大	9
神奈川大	6	神奈川大	6	東京音楽大	2	SBC東京医療大	2
神奈川工科大	11	神奈川工科大	11	東京家政大	1		
金沢工業大	1	金沢工業大	1	東京家政学院大	3		
関西医科大	5	関西医科大	5	東京経済大	2		
<私立大>							
早稲田大	8(4)	早稲田大	8(4)				
慶應義塾大	6(2)	慶應義塾大	6(2)				
上智大	4(1)	上智大	4(1)				
東京理科大	11(8)	東京理科大	11(8)				
国際基督教大	1	国際基督教大	1				
明治大	20(6)	明治大	20(6)				
青山学院大	5	青山学院大	5				
立教大	13(2)	立教大	13(2)				
中央大	14(10)	中央大	14(10)				
法政大	25(3)	法政大	25(3)				
学習院大	9	学習院大	9				
立命館大	(1)	立命館大	(1)				
國學院大	9(1)	國學院大	9(1)				
明治学院大	5	明治学院大	5				
成蹊大	1	成蹊大	1				

☆ 海外大学・海外短期大学 延合格者数 27名

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
延世大	1	サセックス大	1	ウーロンゴン大	1	マサチューセッツ大ボストン校	1
ブリティッシュコロロンビア大	1	ノッティンガム大	1	テンプル大	1	カルフォルニア大アーバイン校	1
シドニー大	1	ヘルプ大	1	ローデア일랜드大	1	他	16

☆ 専門職大学・専門職短期大学 延合格者数 4名

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
東京情報デザイン専門職大	2	東京保健医療専門職大	2				

☆ 短期大学 延合格者数 10名

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
昭和学院短大	3	大妻女子大短大部	1	女子美術大短大部	1	東京歯科大学短大	3
日本大短大部	2						

☆ 大専校・専門学校 延合格者数 35名

学校名	合格者数	学校名	合格者数	学校名	合格者数	学校名	合格者数
防衛大専校	2	水産大専校	1	神奈川県立平塚看護大専校	1	豊津中央病院付属看護専門	1
東京医療看護専門	1	東京女子医大看護専門	1	日本医科大学看護専門	1	江戸川大学看護専門	1
						他	26

☆ 就職 内定者数 2名

東京都消防庁、埼玉県警

昭和学院秀英中学校高等学校 事業報告書

1 学校の概要

(1) 設置する学校と開校年月日・学科

昭和学院秀英中学校高等学校	併設型中高一貫教育校
〔昭和学院秀英中学校〕	1985年4月1日開校
〔昭和学院秀英高等学校〕	1983年4月1日開校

全日制（普通科）

(2) 令和7年度 生徒数の状況

	学 年	募集定員	学則定員	現員数	クラス数
昭和学院秀英 中 学 校	1 年	160	160	174	5
	2 年	160	160	173	5
	3 年	160	160	176	5
(計)		480	480	523	15
昭和学院秀英 高 等 学 校	1 年	240	240	266	8
	2 年	240	240	291	10
	3 年	240	240	258	8
(計)		720	720	815	26
合 計 数		1200	1200	1338	41

(3) 教職員の概況

令和7年度教職員数

〔教 員〕 本務 90人 兼務 17人

〔職 員〕 本務 6人 兼務 4人

教職員平均年齢 47.8歳

2 事業の概要

(1) 事業の概要

【本校の教育方針】

本校は学校法人昭和学院によって設置された中高一貫校である。本校に求められる使命と建学の精神に基づき、時代の変化に対応した次の教育方針を掲げる。

- 【1】豊かな未来の創造に向かう視野と能力を持つ人間の育成を本校の教育の使命とし、グローバルサイエンスリーダーたる資質の涵養を目標とする。
- 【2】全ての教育活動において主体性を重んじ、自律した自己の確立と多様性の尊重・協働する喜びの理解を基盤とした人間教育につとめる。
- 【3】生徒の高い進路目標の達成に応える進学校として、国内難関大学及び海外有力大学への合格とともに、将来においても学び続ける力の育成を推進する。

少子化が進展する中、選ばれる学校であるために、令和7年度も引き続き、教育内容の充実と活発な広報活動に取り組んだ。

(2) 主な事業の目的・計画及び進捗状況

〔1〕グローバル教育

目的：高い英語力とグローバルな視野の育成。

- ① 高校2年生の習得レベルを、CEFRのB2レベル（英検準1級レベル）とする。
- ② 海外研修は選択肢を増やすとともに、趣旨と目的を明確にし、生徒の主体的な参加を促す。
 - ・カリフォルニア州立大学イーストベイ校アントレプレナーシップ研修
 - ・カナダ・ピクトリア語学研修
 - ・マレーシア・スウィンバーン工科大学グローバルエクステンジプログラム
 - ・イギリス・ケンブリッジ研修（ケンブリッジ大学で研修）
 - ・オーストラリア・シドニー研修（現地中高の授業参加）
 - ・カナダ・ピクトリア語学研修
- ③ 高大連携プログラム（神田外語大学との連携講座）
 - ・Academic English 講座（神田外語大のネイティブ教員による講座、全15回）
 - ・Global Career Program (TOEFL iBT, SAT, Essay 等、全20回)
- ④ 海外大学との特別推薦入学協定（予定も含め、令和7年度末で7校締結）
 - ・California State University, East Bay（アメリカ）
 - ・State University of New York Oswego（アメリカ）
 - ・Swinburne University of Technology Sarawak Campus（マレーシア）
 - ・国立雲林科技大學 (Nation Yunlin University of Science and Technology 台湾)
 - ・Griffith College（アイルランド）
 - ・Minnesota State University, Mankato（アメリカ、予定）

〔2〕サイエンス教育

目的：文理横断型のサイエンス教育と高校理系の理数探究授業の実施

- ① 中高生のための産業探訪シリーズ「化学の力」（PLIJ主催）を本校で実施（12月）
- ② 高校2生理系 理数探究授業 成果発表会（3月）
講師：明治大学数学科矢崎成俊教授、千葉大学高等教育センター秋本行治教授
- ③ 東邦大学薬学部、理学部、健康科学部と高大連携協定を締結（令和8年5月15日調印）

〔3〕秀英アカデミア

目的：探究的学びに向かう姿勢の育成

- ① 探究講座（中高参加自由、全12回実施） 以下3例抜粋
 - ・アントレプレナーシップ講座 講師：株式会社ZOZO企画部、藤井裕樹氏
 - ・科学講座「機能性材料」の開発 講師：国立研究開発産業技術総合研究所、鬼頭聖氏
 - ・健康医療講座「骨博士と語る2050年の医療」 講師：東京大学大学院教授、鄭雄一教授
- ② 秀英課題探求プロジェクト 5チームが探究チームとして探究成果を発表
- ③ 外部コンテスト参加

〔4〕教養・平和教育

全校芸術鑑賞教室（4月） ジャズピアニスト、小曾根真氏
歌舞伎鑑賞（中学3年生、6月） 能楽鑑賞（高校2年生、6月） 福祉講演会
文化講演会（11月） 講師：宮田裕章氏（データサイエンス、慶應義塾大学教授）
平和教育 高校1年生：広島平和学習（11月） 高校2年生：沖縄修学旅行（11月）

〔5〕進路指導

- ・卒業生による進路講演会を頻繁に実施
- ・大学や外部機関訪問、大学講師による進路講演会（主なもの）
 - 東京大学駒場リサーチキャンパス（6月）
 - 外務省訪問（8月）

東京大学工学部長 加藤泰浩教授講演 (6月)

- ・長期休暇中の夏季講習・冬季講習の他に、中高ともに年間を通して放課後の講習を実施
- ・「チーム・メディカル」として進路部主導で医学部受験を指導
- ・自学自習の姿勢の育成

卒業生をチューターとした自習室を週2回開設

自習スペースの設置：自立学習室 (7:00~18:00)、図書館 (高校生は 20:00 まで自習可能)

【令和7年度 主な大学の合格者数】 () は現役数

国立大学		私立大学		令和7年度卒業生 258名
東京	4 (4)	慶應義塾	35 (28)	
京都	3 (3)	早稲田	76 (70)	
東京科学	5 (3)	上智	48 (46)	
一橋	7 (6)	東京理科	114 (102)	
難関4大学 合計	19 (16)	明治	96 (84)	
北海道	4 (4)	青山学院	26 (24)	
東北	4 (4)	立教	34 (32)	
名古屋	3 (3)	中央	36 (32)	
大阪	3 (3)	法政	69 (63)	
神戸	1 (1)	学習院	8 (8)	
九州	3 (3)	医学部医学科	13 (8)	
難関10大学 合計	37 (34)	海外大学		
筑波	4 (4)			
千葉	27 (22)	State University of New York Oswego (米国)	2 (2)	
医学部医学科	5 (4)	Durham University (英国)	1 (1)	
国立大学 合計	85 (74)			

〔6〕 生徒募集状況

中学入試の受験生は前年より減少した。高校入試は第1志望者に5点加点措置を導入したため受験生は若干増加した。ただし、千葉県全体としての少子化の影響は中学入試、高校入試ともに確実に出てきている。千葉県及び都内からの受験生獲得に向け、本校の魅力を高めることが必要である。

【令和8年度入試状況】

昭和学院秀英中学校入試状況

学則定員 160名	出願者	受験者	合格者	入学者	内部進学	入学者計
午後特別 (定員 30)	826	797	204	160 帰国生 2	8	168
第1回 (定員 110) (内、帰国生数)	1377 帰国生 17	1203 帰国生 16	430 帰国生 5			
第2回 (定員 20)	198	185	23			

昭和学院秀英高等学校入試状況

学則定員 240名	出願者	受験者	合格者	入学者	内進進学	入学者計
-----------	-----	-----	-----	-----	------	------

募集定員 80名 (内、帰国生数)	1274 帰国生 15	1268 帰国生 15	569 帰国生 4	83 帰国生 0	169	252
----------------------	----------------	----------------	--------------	-------------	-----	-----

(7) 令和7年度に実施した施設設備の改修（主な事業の概要）

- ・ 渡り廊下更新工事（2025年5～7月）
- ・ 第1・2体育館トイレ排水管破損に伴う緊急工事（2025年6～11月）
- ・ LL教室改修工事（2025年7～9月）
- ・ 中学棟西側トイレ更新工事（2025年8～9月）
- ・ 校内LAN整備（2025年11月）
- ・ 中央棟GHP（空調設備）更新工事（2026年2～3月）
- ・ 中学棟・高校棟階段・廊下塗装工事（2026年2～3月）

〔3〕 施設等の状況

(1) 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。全て、中学校高等学校の校舎として使用している。

所在地	千葉県千葉市美浜区若葉1-2					
施設 面積	校地	36103.16㎡	高校棟	4911.50㎡	中学棟	2801.33㎡
	中央棟	3001.64㎡	新館	1075.94㎡	小講堂	384.72㎡
	第一体育館	1764.00㎡	第二体育館	840.00㎡	武道館	604.00㎡
	プール上屋	131.00㎡	図書館	658.84㎡		

〔4〕 その他

- (1) 当該年度の重要な契約 なし
- (2) 係争事件の有無とその経過 なし
- (3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実 なし
- (4) 対処すべき課題 等

少子化は想定以上に進んでおり、生徒募集を取り巻く環境は厳しさを増している。

さらに、千葉県の生徒が都内の進学校を進学先として選ぶ状況も生まれ、本校の魅力を高めるさらなる施策が急がれる。

・教育内容の充実

本校が推進するグローバル教育・サイエンス教育・探究教育は、次世代を担う資質を育成するものである。グローバル・サイエンスリーダーを育てる進学校として評価に値する教育を全職員で目指していく。

・施設・環境の充実

本校はまもなく創立50年を迎える。施設の老朽化は進んでおり、補修や改修を施しているが、校舎の古さは生徒募集においてマイナスの影響を与えている。また、現在本校の生徒の6割以上は理系志望者であるなど、本校の進学実績の向上に伴う生徒のニーズの変化に、校舎や施設が応えきれていない。生徒が自らの可能性をさらに伸ばすことのできる学校環境の整備が喫緊の課題である。

・働く環境の整備

教員不足の影響は全国的に深刻であり、教職員の待遇や環境の整備・改善に努める必要がある。

【生徒の主な表彰】

〔学芸関係〕

千葉大学 ASCENT-6E 高校1年

研究発表出場：サイエンスカンファレンス 2025、 第28回国際研究発表会
ジュニア農芸化学 2026、 つくば Science Edge 2026
Chulalongkorn University (タイ) 研究発表

数学オリンピック 本選出場 高校2年

日経ストックリーグ アイデア賞 中学3年4名 入賞 中学3年8名

将棋部 中学校選抜将棋選手権千葉大会予選 個人第3位 中学3年

科学の甲子園ジュニア千葉県大会 3位 中学1、2年7名

AtCoder Junior League 2025 Summer アルゴリズム部門第9位 中学1年

日本クラシック音楽コンクール全国大会 ピアノ部門第7位 中学2年

高校生まちづくりコンテスト 審査員特別賞 高校2年3名

〔スポーツ関係〕

インターハイ出場

高校水泳部 200M個人メドレー 高校1年女子

スポーツライミング 高校1年女子

全国中学校スキー大会出場 アルペンスキー 中学2年女子

関東大会出場

高校水泳部 200M個人メドレー 第1位 高校1年女子

高校陸上部 100M 高校1年男子

高校新体操部 高校1、2年

中学校陸上部 中学男子 4×100Mリレー

県大会出場（中学校）

中学校サッカー部 千葉県ユースサッカー選手権千葉県大会出場

中学校陸上部 中学男子 4×100Mリレー 3位

中学チアダンス部 USA Regional 2026 千葉大会中学校部門 Small 第7位

USA National 2026 出場

高校チアダンス部 USA チアリーディング学生新人大会 2025EAST 高等学校編成 3位

昭和学院小学校 令和7年度事業報告書

1. 学校の概要

(1) 設置する学校と開校年月日・学部・学科等

昭和学院小学校 1950年4月1日開校

(2) 学校・学部・学科等の学生数の状況

入学定員 105名（6年を除き35名3学級） 収容定員 605名

令和7年度児童数

学年	組	定員	実児童数
1年	1組	35	33
	2組	35	33
	3組	35	33
2年	1組	35	36
	2組	35	36
	3組	35	36
3年	1組	35	37
	2組	35	37
	3組	35	36
4年	1組	35	37
	2組	35	36
	3組	35	36
5年	1組	35	35
	2組	35	35
	3組	35	34
6年	1組	定員80名 令和8年度から 105名	27
	2組		27
	3組		26
合計		605	609

(3) 教職員の概要

本務教員 38人（平均年齢 40.9歳）

兼務教員 6人（平均年齢 48.3歳）

本務職員 6人（平均年齢 48.2歳）

兼務職員 5人（平均年齢 60.8歳）

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

人生百年と言われる時代の中で、生涯にわたって豊かに生きる力の基礎を育む。教育内容を充実し、選ばれる学校、通って満足できる学校づくりに励む。

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

【事業の目的】

建学の精神「明敏謙讓」のもと、子ども一人ひとりの個性を伸ばし、可能性を広げる教育の推進に努め、笑顔のあふれる学校づくりを目指す。

【基本方針】

- ① 児童に寄り添い、個に応じた指導を充実させる
- ② 新学習指導要領に対応するための教員の授業力育成研修
- ③ ICT教育、プログラミング教育の研究・実践
- ④ グローバル化の推進
- ⑤ 充実した学習活動を保障する学習環境の構築
- ⑥ 広報・宣伝活動

【令和7年度実施報告】

① 個に応じた指導

1年生は担任、副担任の2名体制で指導。低中高各学年にサポート教員を6名ずつ配置学年サポートを低中高学年にふりわけて複数教員で子どもを細やかに見ることができた。

② 校内研修会の推進

校内研究として「本当のわかる・できるを創造する授業」というテーマの下、ICT等教育機器活用部会と授業の質向上部会に分かれて授業研究を行った。それぞれの部で部員全体が共通にもつ授業の視点を設定し、それに則った授業研究を全教員で行った。

また、日本私立小学校連合会の主催する全国大会をはじめ、各研究会に積極的に参加し、研修報告書などをもとに情報を共有し研鑽を積んだ。

③ 一人一台のiPadを活用した教育活動の充実

○企業との連携

ソフトバンクと連携しAIを活用した体育授業を実践した。

(6年生ボール飛ばし、2,5年生なわ跳び)

校内研修会において授業を公開し、アプリとの連携の有効性について検討した。

○プログラミング教育

プログラミング教育を各学年に位置付けて実施した。

学校見学会でも実際に児童がプログラミング教育を行っている授業を公開した。

④ グローバル化の推進

○イングリッシュキャンプの開催

6年生が山梨で実施した。ネイティブの先生方と少人数のグループ活動を通して、それまでの英語学習の成果を発揮した。

○オーストラリア交際交流の実施(希望者)

夏季休業中にオーストラリア(ブリスベン)において、希望者による国際交流を実施した。2人ペアになってホームステイし、現地校に平日5日間通学して授業を受けた。7泊9日の日程で実施した。

○韓国からの視察受け入れなど、国際交流の依頼を積極的に受け入れた。

⑤ その他

○書写の継続的な指導

第78回全日本学生清書コンクール 内閣総理大臣賞

書写教育、習字クラブの継続的な活動により受賞。その他個人で文部科学大臣賞も受賞。

○児童募集

少子化が進む中で、定員を確保するために、オープンスクール・学校説明会を実施した。塾主催の説明会なども積極的に実施、また伊藤記念ホールを会場とした「私学フェア」の開催でも多くの方に参加していただいた。

⑥ 施設等の改修等

・令和7年度 私立学校施設整備補助金を利用し、不審者対策をより効果のあるものにするため、普通教室すべてに防犯カメラを設置した。

工事費 6,140,000円 (内 補助金交付額 3,070,000円)

・校庭の木の剪定

⑦ 令和8年度昭和学院小学校入学考査の結果

	推薦						一般			合計		
	内部			外部								
出願数	31	男	15	64	男	31	57	男	31	152	男	77
		女	16		女	33		女	26		女	75
入学者数	30	男	16	57	男	28	24	男	12	111	男	56
		女	14		女	29		女	12		女	55

⑧ 中学校合格者数

【千葉県】昭和学院中 (54) 昭和学院秀英中 (8+6)

渋谷幕張中 (6) 東邦大東邦中 (7) 市川中 (5) 専大松戸 (2) 芝浦工大柏 (3)

県立千葉 (2) 麗澤中 (2) 和洋国府台女子

【東京都】筑波大学附属中 区立九段中等教育学校

開成 (3) 本郷 (2) 獨協 (2) 麻布 早稲田 早稲田実業 豊島岡

学習院 広尾学園 巣鴨 海城 郁文館 (2) 立教 立教女子

國學院久我山

【その他】

開智 (4) 栄東中 (6) 埼玉栄 (2) 佐久長聖

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

市川市宮久保 1-4-1 (〒272-0822)

主な施設設備の状況は次の通りである。

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿差額	摘要
千葉県市川市	校地・校舎	校地 11,322 m ² 建物 9,066 m ²	—	—	小学校の学校用地として利用

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

なし

(4) その他

① 当該年度の重要な契約

なし

② 係争事件の有無とその経過

- ・ いじめの重大事案の認知に係る件（1件）

発生日時 平成 26 年 5 月 7 日

概要 放課後のアフタースクールとして行われていた体操教室において、当時 3 年生の児童が怪我をした。その児童の保護者から令和 5 年にいじめ重大事案として調査するよう申し立てがあったため、学校として学事課などの指導を受けながら仲介し現在に至っている。

- ・ 授業中の受傷事案（1件）

発生日時 令和 6 年 10 月 7 日

概要 図画工作の授業中に、男子児童が女子児童に押されて右唇下を 8 針縫合する怪我。その後受傷児童保護者代理人より法人及び加害児童保護者宛に損害賠償請求が届く。学校と法人が顧問弁護士からの指導を受けながら現在に至っている。

③ 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

なし

④ 対処すべき課題 等

A 入試実績

令和 7 年度入学考査	推薦入試		一般入試	合計
受験人数	内部 27 名	外部 63 名	36 名	126 名
合格者	27 名	55 名	29 名	111 名
入学者	27 名	53 名	18 名	98 名

令和 8 年度入学考査	推薦入試		一般入試	合計
受験人数	内部 31 名	外部 63 名	42 名	136 名
合格者	30 名	57 名	36 名	123 名
入学者	30 名	57 名	24 名	111 名

令和 8 年度入試において、定員 105 名のところ、4 月の入学者は 111 名であった。

令和 7 年度入試の結果を受けた対応策が功を奏した結果になったが、昨今の少子化の状況から、今後も引き続き積極的な広報活動を展開していく必要があると考える。

B 対応策

- ア 定員に満たない学年について広く編入を受け付ける。
- イ 学校紹介のためのオンライン説明会を年 2 回追加。より多くの人に昭和学院小学校を知ってもらおう。東京にも宣伝の範囲を広げる。
- ウ 幼児教室向けの説明会を 1 回追加。幼児教室に昭和学院小学校の良さを知ってもらい、保護者に勧めてもらう。
- エ オープンスクールの内容の工夫。参加した保護者、幼児に「昭和学院小学校に通いたい」と思わせる内容の工夫をしてアピールしていく。
- オ 在校生の満足感を高めて、口コミで昭和学院小学校の良さを広めてもらう。
そのための、行事や授業のより一層の充実を図る。
- カ 昭和学院小学校を広く知ってもらうため、SNS を活用する。また外部に委託し自転車教室などを開催する。その際に本校紹介ビデオを放映し、本校の学校案内などの宣伝チラシなどを配付する。

C 今年度の具体的内容

- ア 4 月 17 日（金）に新規オンライン学校説明会実施 済
- イ 入試までの間にオープンスクール・学校説明会を 6 回実施
 - 5 月 9 日（土）第一回 授業参観と学校説明会 済
 - 6 月 6 日（土）第二回 子どもが昭和学院小学校のよさを紹介 済
 - 6 月 23 日（火）第三回 平日のオープンスクール（土曜日参加できない方向け）
 - 6 月 27 日（土）体験教室 幼児が本校の授業を模擬体験（5 年生が案内）
 - 7 月 10 日（金）ナイト説明会（働いている保護者向け）
 - 9 月 5 日（土）第四回 今年度の入試の傾向を説明
- ※ 2 月 28 日（日）の私学フェア、3 月 12 日（金）のオンライン学校説明会は令和 9 年度の入試に向けて
- ウ 探究的な学びをカリキュラムに取り入れる。（4，5，6 年）
- エ 英語のカリキュラムを改革。高学年に Oxford のテキストを採用
- オ SNS の活用 インスタグラムをリニューアルし、広報活動をより積極的に行う。
- カ 学校案内の見直し。これまでの全 36 ページの内容を精選し、14 ページの基本方針コンセプト紹介版と 6 ページの具体的インフォメーション紹介版の 2 分冊に変更。
- カ アフタースクールの内容充実
 - ・新規アフタースクール（サッカー教室）

⑤その他

令和 10 年 4 月開校開園予定の昭和秀英小学校・秀英幼稚園に関する広報活動も合わせて、具体的なシステムの構築を進める。

昭和学院幼稚園 令和7年度 事業報告

1. 学校の概要

(1) 設置する学校と開校年月日・学部・学科等

昭和学院幼稚園 1967年4月1日 開園

(2) 学校・学部・学科等の学生数の状況

① 入学定員 60名、学則定員 180名

令和8年5月1日現在

	学則定員	在籍数	クラス	利用定員
年少	60名	38名	2クラス	50名
年中	60名	56名	2クラス	50名
年長	60名	46名	2クラス	50名
合計	180名	140名	2クラス	150名

※その他 ひよこ組(2歳児) 32名

さくらんぼ組(1歳児) 19名

(3) 教職員の概要

① 本務兼務別員数 等

令和7年5月1日現在

	本務	兼務	平均年齢
教員	13名	7名	40.8
職員	4名	2名	47.8

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

昭和学院幼稚園は建学の精神のもと設立して今年60年を迎える。令和5年度まで系列校と同じ私学助成で運営してきたが、令和6年度より『子育て支援制度』に基づきスタートした新制度『施設型給付幼稚園』に移行した。

厳しい少子化の影響により、市川市内の幼稚園入園児は減少が続いており、本園も例外ではない。昭和学院の建学の精神の下、時代に即した教育を展開することで、保護者から選ばれる幼稚園を目指していきたい。

(2) 目的

『幼児期に育てほしい10の姿』を踏まえ健康な心と体の育成と感性を育てる。

幼小の円滑な接続のために『架け橋プログラム』を構築、推進する。

昭和学院小学校への円滑な内部進学を進める。

昭和学院ブランドを維持しつつ、時代に即した魅力ある教育を進めていく。

8、園舎、園庭の整備 …… 補助金を利用した施設の整備

【園舎・備品の整備事業報告】

	補助金名		事業名	事業費	交付額
学事課	教育支援体制 整備事業費補 助金	園務改善のための ICT化支援	PC・iPad	1,177,220 円	550,000 円
		緊急環境整備事業 (遊具環境)	テント 餅つき用白 マット アクティブジム	856,000 円	184,000 円
市川市	振興費補助金	施設整備	2F デッキ 一部床の張替え	3,960,000 円	1,440,000 円
		災害対策費	保存水 栄養補給ライフ スープ	58,025 円	57,000 円

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

昭和学院幼稚園 市川市宮久保1-3-1

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

なし

(4) その他

① 当該年度の重要な契約

なし

② 係争事件の有無とその経過

なし

③ 対処すべき課題 等

- ・ 少子化の影響による入園児数の減少

2歳児のひよこ組、1歳児のさくらんぼ組からの募集を強化する。

未就園児対象のニコニコキッズ(英語・音楽・体操・ピラティス)を充実させることによって更に、0歳児、1歳児を取り込む

- ・ ブランド幼稚園として更に充実を図る